

# 湯川だより



第6号 2013/04/25  
発行：御代田町 町民課

～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

## 新クリーンセンター環境アセス 春季調査が始まる

### 大気質・地上気象調査

4月18日から24日の7日間にわたり、町内12地点で大気質調査、地上気象調査等が実施されました。大気質調査は、6地点で一般環境大気質(降下ばいじん、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、ダイオキシン類、塩化水素)を、1地点で沿道環境大気質(降下ばいじん、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、ベンゼン)を測定し、降下ばいじんについては、1か月間の測定が4月30日まで行われています。

地上気象は、既に通年観測が始まっている面替区上尾崎を除く9地点で7日間の観測が行われました。大気質・地上気象調査は、春季、夏季、秋季、冬季の4季各7日間実施され、大気拡散予測に用いる基礎データなどに活用されます。

大気質・地上気象調査は、全体で22地点と全国的に見ても多くの地点数となっています。大気や気象、風向きによる影響は、地域の皆さまにとって特に関心の高い項目にもなりますので、今後とも調査へのご理解とご協力をお願いいたします。



▲面替区上尾崎の機器設置状況

### 動物・植物調査



▲底生動物の調査風景

3月までは、哺乳類、鳥類等の冬季調査と猛禽類の行動圏調査(定点観察)が主でしたが、4月以降多くの動物・植物調査が実施されています。4月1日には、ふるさと大橋の下や面替橋付近の湯川沿い、建設候補地の東側を流れる舟ヶ沢などで底生動物、陸・淡水産貝類等の調査が実施されました。併せて爬虫類や両生類の調査も実施され、数種類の魚類や両生類等が確認されました。

猛禽類調査については、引続き毎月の定点観測による行動圏調査に加え、営巣場所の調査が定点調査の結果を踏まえ4月30日に実施される予定です。また、これまでの観測結果から新たに定点を設け、より観察しやすい場所に変更するなどして調査が進められます。

植物調査については、4月24日から25日の2日間にわたり、注目すべき個体や集団、種及び群落などが調査されます。動物・植物調査はこれからの季節、生物の活動がより活発になりますので、5月以降も多くの個体が確認できるよう、定められた期間、回数等により調査が行われていきます。



▲底生動物調査で確認された「ウグイ」



▲陸・淡水産貝類調査で確認された「カワニナ」

### 景観調査

4季節の調査が予定されている景観調査は、児玉区の飯綱タウン付近や雪窓公園、龍神の杜公園、西軽井沢区の越生グランド付近など町内6地点で今年2月に冬季調査が実施されました。

各季節をととした主な景観資源(平尾山等)の見え方などを写真に記録し、コンピューターグラフィックスにより想定される新クリーンセンターの建物を合成したフォトモンタージュなども今後作成され、景観に与える影響を予測、評価します。次回の春季調査は、4月下旬から5月上旬に行われます。各季節によって変わる景観資源の色合いや見え方などが適切に調査される予定です。



▲旧中山道小田井宿から撮影した平尾山(景観資源)



▲児玉区飯綱タウンから撮影した平尾山(景観資源)

### 触れ合い活動の場調査

触れ合い活動の場調査は、公園など多くの人が利用し、触れ合い活動が形成されている場所において新クリーンセンターの影響を施設管理者や利用者からの聞き取りを行いながら調査されます。

冬季調査は、2月に景観調査と同時に実施され、雪窓公園や龍神の杜公園の2地点における施設の利用状況などを調査しました。春季調査は、景観調査と同時に実施が予定されており、利用者からの聞き取りなどが行われます。公園をご利用される皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

この他、建設候補地の地下水調査孔や面替区内の井戸、豊昇区の久能沢川などで水質調査や地下水位等の調査が実施されています。今後も、湯川だよりや町内回覧により調査に関する情報をお伝えしてまいります。

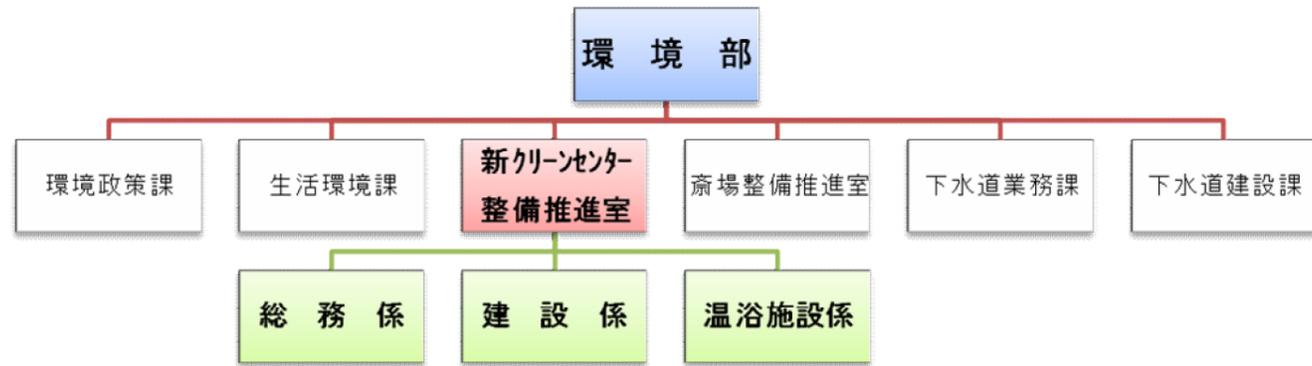


## 平成 25 年度 佐久市役所新体制の発足

平成 25 年 4 月から佐久市役所における組織が再編成され、皆さまと特に関係が深い新クリーンセンター整備推進室においても人事異動による新体制のもと業務が行われています。

- ・平成 25 年 3 月 31 日まで 佐久市環境整備推進局 新クリーンセンター整備推進室
- ・平成 25 年 4 月 1 日から 佐久市環境部 新クリーンセンター整備推進室

この新クリーンセンター整備推進室は総務係、建設係、温浴施設係の3係から編成されており、総務係が一部事務組合の設立や庶務を担当し、建設係が環境影響評価や新クリーンセンターの整備に関する業務全般、温浴施設係が温浴施設の計画、整備を担当しています。



### 軽井沢町・立科町・御代田町からの職員派遣が継続

平成24年4月より、軽井沢町、立科町、御代田町から各1名の職員が、佐久市に派遣されていますが、本年度も引続き同じ職員が業務にあたっています。

佐久市の職員とともに目的達成のため、日々頑張っています。今年度も地域の皆さまとお顔を合わせる機会がありますので、引続きよろしく願いいたします。

#### ◆ 職員構成(新クリーンセンター整備推進室のみ抜粋)

名称	職名	氏名	備考
環境部	部長	出澤 丈夫	H25/4/1 付人事異動
新クリーンセンター整備推進室	室長	篠原 秀則	H25/4/1 付人事異動
総務係	係長	浅賀 信雄	軽井沢町派遣職員
	主任	小林 英樹	
建設係	室長補佐兼係長	武者 泰雄	
	主任	羽場 雅敏	立科町派遣職員
	主任	櫻井 優祐	御代田町派遣職員
温浴施設係	室長補佐兼係長	上野 幸一	
	主任	塚田 光輝	H25/4/1 付人事異動

## ちよっとそこまで

### 雪窓湖 ~ 湖面が映し出す思い出を辿って ~

春の柔らかい日差しが湖面に光る4月上旬、向原区にある『雪窓湖』は静かに春の到来を待っているようでした。

なかなか雪窓湖に行く機会もなく、平成22年度に終えた大規模改修後の新しい姿を最近になってようやく見る事ができました。ベンチに座る家族連れ、釣り人、散歩をする人、子どもの頃に毎週友達と雪窓湖で釣りを楽しんだ思い出がよみがえりました。

雪窓湖はさかのぼること約50年前、高度経済成長期の真っ只中、町は観光開発に力を注いでおり、町民や観光客の憩いの場として建設が計画されました。そして、昭和40年4月23日に田畑の用水不足を補い、さらに水温を上げて米の多収穫を図るための温水溜め池として雪窓湖が完成し、農業用水の溜め池として機能するほか、観光資源としても活用され、ボートやニジマス釣り、スケートなどが楽しめる施設として多くの人に利用されてきました。特に昭和40年代から50年代はスケートが盛んで、冬場に水位を下げて凍らせ、町民スケート大会が開催されたり、小学校のスケートクラブ活動の拠点として早朝練習が行われていました。そのため、ジュニアスケーターだけでなく、多くの保護者の皆さんがリンク作りにご尽力されていたようです。惜しまれつつも、平成2年の冬を最後に雪窓湖でのスケートは禁止され、その役割を終えました。



▲昭和 40 年当時の雪窓湖(御代田町誌)



▲大規模改修を経た現在の雪窓湖

子どもの頃、写生大会やマス釣り、ボート等で遊んだ思い出があります。現在はマス釣り用の釣り堀やボート、棧橋などは姿を消し、代わりに湖の周りの散策路や護岸など周辺環境がとてもきれいに整備されています。散策路からは湖と浅間山の両方が見え、これからの季節、ウォーキングなどに雪窓湖を訪れてはいかがでしょうか。最盛期には、年間1万5千人を超える観光客が雪窓湖を訪れていたそうです。新たな魅力と共に生まれ変わった雪窓湖が、町の観光資源として更に多くの皆さまに利用される日が来ることを願っています。(ゆ)

### 編集後記



4月1日に行われた春季調査の中で、調査業者の方が撮影したフキノトウです。卒業、入学、就職等、身の回りで起こる春の訪れとは違った、自然のなかの春の訪れを実感しました。新生活をスタートした方も大勢いらっしゃると思いますが、新しい暮らしにも少しは慣れてきたでしょうか。

湯川だよりの発行もおかげさまで2年目を迎えることができました。新クリーンセンターに関する情報紙としてこれからも定期的に発行し、この地域に暮らす皆さまが本施設の整備についてより関心を深めていただけるよう、全力で努めていきたいと思っております。

【発行】 御代田町 町民課 環境衛生係  
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)

【佐久市問合せ先】 佐久市 環境部 新クリーンセンター整備推進室  
佐久市中込 3056 番地 電話：0267-62-2111 (内線 297)